

ノンワックスビニル床シート メンテナンスガイド

～きれいに末永くご使用していただくために～

このたびはノンワックスビニル床シートをご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品のご使用にあたっては、この「メンテナンスガイド」を必ずご一読ください。
末永くご使用いただくために、正しいメンテナンス方法を
十分にご理解くださいますようお願いいたします。

工事店様へのお願い

お引渡しの際は、このメンテナンスガイドをお客様にお渡しください。

施主様へのお願い

このマニュアルをよくお読みください。
このガイドにそってメンテナンスを行ってください。

●ご使用に際して

ノンワックスビニル床シートは表面の防汚コーティング層の効果で汚れが付きにくく、付着しても一般ビニル床シートと比較して汚れがとれやすい床材です。ワックスメンテナンスが不要な床材であり、日常メンテナンスを適切に行うことで床シートの表面を綺麗に保つことができます。汚れは時間とともに落としにくくなりますので、日常メンテナンスによりできるだけ早いうちに落とししてください。

シートの継ぎ目に使用する溶接棒は一般ビニル床シート（非ノンワックス品）に比べて汚れにくい配合にしておりますが、シート表面の防汚コーティングとは異なる材質であるため、シート面に比べると汚れが付着しやすく目立つ場合があります。目地溶接部のメンテナンスは汚れが目立つ場合は、シートよりも入念にメンテナンスを実施してください。

シンコール株式会社

●汚れの付着を予防するために

床表面が傷つくことで汚れ付着の原因となる場合があります。砂や石等による床材表面の損傷を避けるためには、なるべく広範囲にわたってマットを設置し、外部から土砂の持ち込みを防ぐことが重要です。

エントランスには下記の3種のマット設置が汚れ付着防止に効果を発揮します。

- ① 屋外 外からの土砂、泥を落とすマットを敷く
- ② 風除室 細かい砂や雨の日の水分を落とすマットを敷く
- ③ 屋内 埃、水分の残りを吸着させるマットを敷く

●床仕上げ材のメンテナンス

初期メンテナンスは基本的な清掃を行ってください。工事完了後のワックス塗布の必要はありませんが、中性洗剤で洗浄、水拭きし乾燥させてください。

(A) 日常の手入れ・メンテナンス

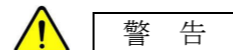
日常の清掃は毎日必ず実施してください。

ゴミ、砂等はホウキ、化学雑巾、掃除機等で取り除いてください。塵・埃等は固く絞ったモップや雑巾で水拭きするか、化学雑巾で取り除いてください。ヒールマークなどの汚れで落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してハンドパッドでこすり取り、仕上げに水拭きを行ってください。自動洗浄機を使用する場合は、柔らかいパッド（白～赤）を使用してください（目の粗いパッド使用すると表面の特殊コーティング層が摩耗する可能性があります。）。中性洗剤で除去できない汚れはアルコールを浸み込ませたウエスで汚れをこすり取ってください。目地溶接部分の目立つ汚れ除去にはアルカリ性洗剤（ワイブノン）を使用してください。
※床材を傷めますので汚れ落としにシンナーは使用しないでください。

(B) 定期メンテナンス

長期にわたる使用で防汚コーティング層の部分的な摩耗が生じた場合、日常メンテナンスで清掃ムラが見られる場合にはワックスメンテナンスへの切替が必要となります（歩行頻度や使用状況により異なります）。その場合は、一般用ビニル床シートのメンテナンスガイドの手順に従い、実施してください。
※メンテナンス方法の詳細は、メンテナンス材の取扱説明書、技術資料をご参照ください。

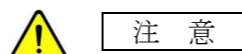
●使用上の注意事項



○床材の以下の様な状態は事故やケガなどを招く危険がありますので歩行には十分注意して下さい。

水溜り、結露、油や洗剤の付着、スロープなど滑りやすい状態

○膨れ、はがれ等が発生した場合などの、つまずきやすい状態は、直ちに補修して下さい。



○重量物や車輪の無理な移動はしないでください。床シートの表面を傷つけたり、膨れを発生させる危険性があります。強くこすったり、引きずったりしないようご注意ください。

○殺菌消毒剤、洗剤、シンナー、防虫剤、ゴム製品（キャップ、マット、シート）、サビ等との接触は、変色・変質を招く場合がありますので注意して下さい。

○床材の上に重量物を置いた場合、床材に凹み跡が残りますので、養生板などを用いて荷重を分散して下さい。台車キャスター、傘先、靴のヒールなど局部荷重がかかる場合は跡が残る可能性があります。